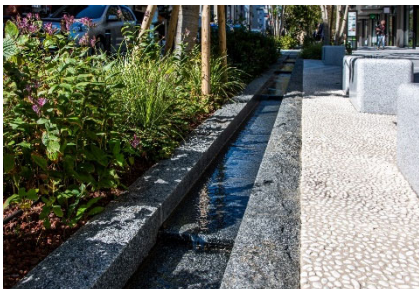
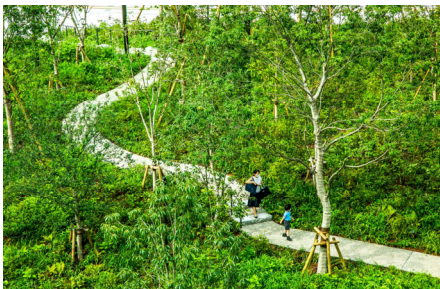
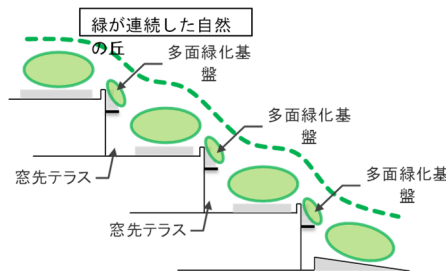


建物名称	コモレ四谷			
所在地	東京都新宿区			
施工年	2020 年			
構造・構法・規模	RC、S、SRC			
事業者名	大成建設株式会社			
設計者・施工者 (改修業者)	基本設計・監修：日本設計・三菱地所設計共同体 実施設計：大成建設株式会社一級建築士事務所			
増改築・リフォーム の種別	—			
新築・増改築・ リフォーム のテーマ・特徴	四谷駅前エリア初となる市街地再開発事業による大型複合ビルとして「地形と都市の融合」という全体コンセプトを実現すべく、隣接して広がる外濠の「大地」の起伏と豊かな「緑」を計画地内に取り込んで、種々に異なる規模、機能、構造の建物群を、ひとつの新しい「環境」となるよう設計した。			
採用された 環境共生要素技術	省エネ	・トップランナー変圧器、高圧配電、太陽光発電、昼光利用照明制御、大温度差空調、外気冷房、エアフローウィンドウ、デマンド制御、デジタルサイネージ、BEMS ・自然換気、壁面緑化（緑化ルーバー）		
	省資源	・中水利用		
	親和性	・中水利用 ・自然換気、壁面緑化（緑化ルーバー）		
	健康快適	・BCP対応：デュアルフューエル発電機、CGS による 72 時間継続運転、電気系統の多回線化（特高 2 回線受電）、防災井戸、マンホールトイレ、		
先導事業・認定等の取得	・第 21 回 屋上・壁面緑化技術コンクール 環境大臣賞（壁面・特殊緑化部門） ・第 21 回 環境・設備デザイン賞 入賞			
  四谷の歴史性、地域性からくる多様性を活かし、街の機能や人と結びつく緑豊かな空間を創出。外濠に接しているという場所性に加え、江戸時代には三栄通りに玉川上水が流れ、四谷御門を起点とした町人地の賑わいが広がっていたことなど様々な姿をもつ場所だった。   周辺住宅街への風環境など周辺街区との調和に配慮し、災害時には地域住民の一時集合場所となる広場を形成。   地上部の緑地からステップ状に緑が連続する「丘」を多面基盤植栽を用いて通年して緑量を保つよう計画。季節の変化を見せながらダイナミックで自然な丘を形成。				
環境共生要素技術導入した効果	・四谷の歴史性、地域性からくる多様性を活かし、街の機能や人と結びつく緑豊かな空間が、地域の人や来訪者の安らぎの場となっている。			